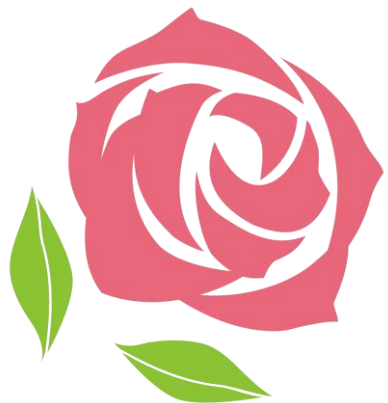


# 子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ） との連携によるアートを取り入れた予防的教育



正保正恵・渋谷清・山内加奈子・渡邊真帆・弘田陽介  
住吉悦子・佐藤晴恵・河村桂子

# 研究のプロセスと展開

2017年度

「ネウボラ（継続的子育て支援）の**日本的展開の可能性**」

2018年度

「子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）**活性化の課題と大学の役割**」

2019年度

「子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）における**多職種連携と研修のあり方**について」

2020年度

「子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）における**オンライン相談の可能性と予防的教育**について」

2021年度

「子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）との**連携による予防的教育**について」

2022年度

子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）との連携による**アートを取り入れた予防的教育**

To be Continued

# 問題背景

## 2021年度の活動

子育て支援研究会

[ホーム](#) [講義動画](#) [お役立ち情報](#) [お知らせ](#) [お問合せ](#) [🔍](#)

福山市立大学

### 妊娠期からの子育て支援研究会

#### 研究会の概要

この研究会は福山市立大学教育学部の教員が中心となり、福山市ネウボラ推進課と連携しながら妊娠期から出産後の親子を応援するために立ち上げたものです。この研究会では、妊娠中から子育て中のお母さんやパートナー、そしてそのご家族に対する支援に関する研究を進めており、ワークショップを実施中です。ここでは、その様子を動画で配信しています。

#### 研究会メンバー紹介

正保 正恵 (しょうほまさえ)

研究代表者

福山市立大学教育学部 教授

専門：家庭科教育・家族生活教育



# 問題背景

厚労省によれば、**子育て世代包括支援センター**は、「主として**妊産婦及び乳幼児並びにその保護者**を対象とし、妊娠期から子育て期にわたり、母子保健施策と子育て支援施策を切れ目なく提供するため、実情を把握し、妊娠・出産・育児に関する各種の**相談**に応じ、**必要に応じて支援プラン**の策定を行う」場所である。そして、福山市においても2021年から「**市区町村子ども家庭総合支援拠点**」が動いており、そこでは、「管内に所在する**すべての子どもとその家庭及び妊産婦等**を対象とし、その**福祉**に関し、**必要な支援**に係る業務を行い、特に**要支援児童及び要保護児童等への支援業務の強化**を図る」こととなっている。

# 目的

本研究の目的は、**拠点と連携しながら妊娠期の妊婦（とそのパートナー）に対してアート（造形・製作・ボディワーク）など（メンタルヘルス）のワークショップを通じた予防的な学びのためのプログラムを実施・評価する。**

# WSの問題背景

ケア

妊娠・出産・子育てという不安な時間，様々なリスクや社会的な圧力の中で，**自分の納得がいく場**を見出す

➡ **ワークショップ開催**



アート

= **自身の心と体の状態，  
日常生活をより見つめることができる技術**

生活を支えるアート：物語性・聴覚性，触覚性，視覚性

# WSの問題背景

異分野

大学 × 地域

家政学  
美術教育  
臨床心理・発達心理学  
教育学  
幼児教育学

子育て推進の行政担当者  
公立図書館

AMC  
by 異分野

英政府機関The AHRC Cultural Value Project の研究成果に基づく「個人の内省」，「アイデンティティ」，「主観的幸福感」等についての効果を検討

# WSの目的

妊娠・出産・育児の当事者の支援として、  
異分野の専門家が連携してWSを開催し、  
そのプロセスや効果を検討する



# WSの実施

## 〈ワークショップの目的〉

妊娠中の女性とそのパートナーが

心と体をアートを通して落ち着けること

## 〈概要〉

日程：2022年9月～10月の4週

対象：初妊婦（中期）と  
そのパートナー

場所：福山市立大学

参加費：無料

## 〈調査〉

- ・ビデオカメラやデジタルカメラ等で撮影し記録
- ・参加者へのインタビュー（初回・最終回）

## 〈倫理的配慮〉

- ・参加者に本調査について説明し，同意を得た
- ・福山市立大学研究倫理審査委員会により承認された

# ワークショップの実施



福山市立大学 教育研究交流センター公開講座

## これからの子育てに安心・安全を感じるためのアートを活かしたワークショップ

- 日時 2022年9月3日(土)~10月1日(土) ●場所 福山市立大学内各教室
- 定員 先着10組(単独参加可) ※申込締切 2022年8月31日(水)まで
- 注意事項 新型コロナウイルスの感染状況によりWeb配信に変更する場合があります。

妊娠中期の女性を対象に、これからの子育てをより安心・安全を感じることができるものにしていくためのヒントを学ぶアートを使ったワークショップを以下の表の通り開催します。

日時		10:00-11:00		11:10-12:10	
月日	曜日	ワークショップ	担当	ワークショップ	担当
9月3日	土	自己紹介 &おしゃべりタイム	正保・ 山内・渡邊	体が落ち着くボディワーク	弘田
9月10日	土	紙コップを使った パペットづくり	渋谷	イラッとする時の対処法	山内
9月24日	日	赤ちゃんを迎える 環境づくりのヒント	渡邊	心が落ち着く背守り刺繍	正保
10月1日	土	絵本の読み聞かせのコツ	栗林	振り返り&おしゃべりタイム	正保・ 山内・渡邊

※研究の一環でもあるため、アンケートやインタビューのご協力をお願いします。  
個人が特定されないことがないように配慮してまいりますので、ご安心ください。

- 参加条件 初妊婦もしくは初妊婦とそのパートナー
- 参加費 無料(準備するものはありません。)
- 申込方法 石のQRコード, または下記のURLからお申込みいただけます  
<https://forms.office.com/r/gk6tx80f>



- 交通アクセス  
自家用車を利用する場合  
大学から市道福山港沖野上線を挟んで東側に約60台分、身体障がい者用2台分。  
※駐車スペースには限りがあります。なるべく路線バスなどの公共交通機関をご利用ください。  
※大学建物に隣接している駐車場は利用しないでください

- 市内路線バスを利用する場合  
中国バス  
●福山駅2番乗り場 手城経由銅管病院行き(福山市立大学行き)「福山市立大学」で下車後、徒歩0分  
●福山駅2番乗り場 手城経由引野行き「手城入口」で下車、徒歩2分 中心部循環路線 まわろーず  
●福山駅10番乗り場 「リーデンローズ入口」で下車後、徒歩10分

主催=福山市立大学教育研究交流センター 協力=福山市ネウボラ推進課

## 担当講師一覧

### 正保 正恵

福山市立大学教育学部 教授  
専門領域は、家族生活教育、家政学、家庭科教育。なかでも、親支援研究として、フィンランドのネウボラには、2回ヒアリングに行っている。主な共著書に、『子育ては胎児から』(岡山県産婦人科医師会)、『家族生活の支援—理論と実践—』(建邦社)、『助産ケアの基本』(日経研)など。2歳6か月(女兒)、8か月(男児)の祖母でもある。



### 弘田 陽介

大阪公立大学文学部 教授  
専門は教育哲学、身体論。福山市立大学を経て現職は大阪公立大学文学部教授。主な著書に『電車が好きな子はかしくなる—鉄道で育児・教育のすすめ』(交通新聞社新書)、棚澤明子氏との共著『いま、子育てはどうする?感染症・災害・AI時代を親子で生き抜くヒント集35』(彩流社)ほか。3人の男の子(高1、中1、小4)の父。



### 渋谷 清

福山市立大学教育学部 教授  
絵画教育の視点から西洋画(油彩画)の技法研究と抽象的な絵画作品研究を進める。東京、広島をはじめ全国のギャラリー、美術館で個展を開催。自ら洋画家として表現活動すると同時に、美術教育者として“造形あそび”の要素を取り入れた表現教育をワークショップや公開講座等で実践展開している。



### 山内 加奈子

福山市立大学教育学部 講師  
小児科、発達小児科、周産期センターで臨床心理士として勤務。その後、大学教員の一方便に企業において精神的な問題を抱えた人や健康な人をより健康にするための支援に携わっている。1×1の関わりだけでなく、公衆衛生的な視点をもちつつ親子、労働者、高齢者の調査研究を行っている。



### 渡邊 真帆

福山市立大学教育学部 講師  
専門領域は幼児教育学、保育学。特に、保育実践や保育環境をテーマに研究している。保育士、広島県教育委員会乳幼児教育支援センターでの幼児教育アドバイザーを経て2022年4月より現職。



### 栗林 寛子

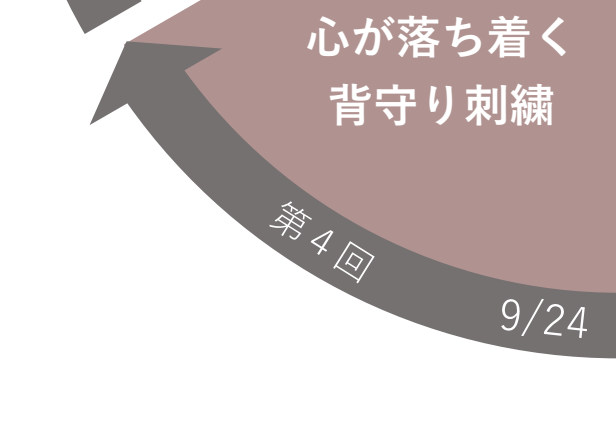
福山市中央図書館 司書  
大学で図書館情報学を学んだのち、2012年より福山市役所に入職。現在は、中央図書館(まなびの館ロースコム内)に勤務。主に、子ども向けの行事や展示の企画など、児童サービス業務を担当している。



問い合わせ先 福山市立大学教育研究交流センター 〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号  
TEL: 084-999-1112 (平日 8:30~17:00) FAX: 084-928-1248  
E-mail: koryu@fou.ac.jp URL: <https://www.fou.ac.jp/contribution/rearrangement/lecture/index.html>

主催=福山市立大学教育研究交流センター 協力=福山市ネウボラ推進課

配布方法  
ネウボラ推進課を通し配布  
公民館に配布



アート  
×  
ケア

# インタビューを通じたワークショップの評価

1. **講座情報の入手経路**は、**公共施設に配布しているチラシ**であった。  
HP等のデジタル情報のみではなく、**アナログ情報**もまだ捨てられない。
2. **講座への評価**は「**良かった**」である。  
妊娠生活や子育てに**直接的な内容**と共に、**アートを通じたWS**が気分転換になったという。生活において多方面に揺さぶりをかけることができた。
3. **今後受きたい講座**は、間近に迫る出産について、産後の子育てについてなど、従来型のみではなく**新しい知識を得たい**と思っているとわかった。
4. **アートで安心・安全な気持ちを育む**といった**本WSのコンセプト**は、受け入れられた実感があるが、ニーズはさらに深くにあることも分かった。

# Webサイトの活用

子育て支援研究会

ホーム 講義動画 お役立ち情報 お知らせ お問い合わせ

## 福山市立大学 妊娠期からの子育て支援研究会

### 研究会の概要

この研究会は福山市立大学教育学部の教員が中心となり、福山市ネウボラ推進課と連携しながら妊娠期から出産後の親子を応援するために立ち上げたものです。この研究会では、妊娠中から子育て中のお母さんやパートナー、そしてそのご家族に対する支援に関する研究を進めており、ワークショップを実施中です。ここでは、その様子を動画で配信しています。

### 研究会メンバー紹介

正保 正恵 (しょうほまさえ)

研究代表者

福山市立大学教育学部 教授

専門：家庭科教育・家庭生活教育

### カミコップを使った パペットづくり (渋谷)

絵画教育の視点から西洋画（旧彩画）の技法研究と抽象的な絵画作品研究を進める。東京、広島をはじめ全国のギャラリー、美術館で個展を開催。自ら洋画家として表現活動すると同時に、美術教育者として「造形あそび」の要素を取り入れた表現教育をワークショップや公開講座等で実践展開している。



### イラッとするときの対処法 (山内)

妊娠中、今まで以上にイライラすると感じることはありませんか？怒りは誰もがもつ自然な感情でそれ自体は悪いものではありません。ただ、怒りに支配されて振り回されてしまうと他者を巻き込み人間関係を壊す恐れもあります。ここでは、怒りを抑えるのではなく、どのように怒りと付き合えば良いのかを一層に学びます。



2022年度の活動追加

# 成果と今後の課題

インタビュー結果によれば、  
大学と地域の行政が連携した異分野グループによるパイロット的WSが  
The AHRC Cultural Value Project の研究成果に基づく「**個人の内省**」，「**アイデンティティ**」，「**主観的幸福感**」の**効果**をもたらし、  
地域の妊娠中の女性及び家族支援を行っていく意味が見出された。

# 引用文献・謝辞・付記

Geoffrey Crossick, Patrycja Kaszynska (2022) 『芸術文化の価値とは何か一個人や社会にもたらす変化とその評価』水曜社  
東京藝術大学 Diversity on the Arts プロジェクト, 坂口恭平他(2022)  
『ケアとアートの教室』左右社

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、WSにご参加いただいた妊婦さまとパートナーの方に心よりお礼申し上げます

## 付記

本研究はアートミーツケア学会2022年度大会にて成果発表を行った。